

塙本は三句
小夜衣と云

飛騨人のしる松あれあけく毛とるものハ鷹也。因をうらん
一二句ハ序也。あけく毛ハあけく松取木の屑とるくも
鷹の毛此名也。病の時必る頭よある毛也。

ちりあれと云の毛とるくも。○てもあけく松取木の屑とるくも
古註よあるうめくさ。云の毛ハ尾の下ハ尾まげ亂系と云と
ふ云の毛あり。それ一つ也。羽のこハあけくうと云。○とりひ又
そ。○ても霰降は。あけくさ。と云。あけく也。

あけく交野の毛とるくも。それぬも。あけくぬも。鷹
古註よ。云とハ尾まげの羽と云と。○り交野のみの。毎と
うけく上ハ序の。と交野ハ。あけくも。あけく河内國の名所なり。